

## 学会記事

### 2006年度 第3回理事会 議事録

2006年9月15日

期日：2006年9月2日(土)

12:00~16:30

場所：地質学会事務所

出席者：木村会長、伊藤副会長、佃副会長、  
渡部常務理事・天野副常務理事・Wallis・  
上砂・大友・狩野・高橋・久田・宮下・向  
山 各理事、橋辺(事務局)

欠席理事：増田・公文・倉本

\*成立員数(12/17)に対し、出席者14名、  
委任状0名、欠席者3名で、理事会は成立。

#### ○報告事項

1. 運営財政部会(部会長-上砂, 中山, 向  
山, 大友)

総務委員会(委員長-上砂)

庶務関係(担当理事-上砂)

<共催・後援等関連>

・応用地質学会：応用地形学講習会(11月  
24日)協賛依頼を了承した。

・海洋調査技術学会：第18回研究成果発表  
会(11月9日~10日)協賛依頼を了承し  
た。

<賞の公募関連>

・財)日本科学協会：平成19年度研究助成  
(10月1日~10月13日)→News誌, HP掲  
載

・社)大学婦人協会：守田科学研究奨励賞  
(11月30日/メ切)→News誌, HP掲載

・三菱財団平成18年度助成決定通知

<挨拶状>

・財)日本科学技術振興財団役員選任挨拶,  
理事長有馬朗人(変更なし)

<その他>

・東京大学海洋研究所：平成19年度学術研  
究船「白鳳丸」,「淡青丸」の共同利用公  
募について(9月22日締め切り)→ HP  
に掲載

・会員07年問題等の現状と今後について,  
会員および会計担当者で8月9日, 30日  
の2度にわたって検討を行った。

・若手の賞新設に当たり, 新メダルを作成  
した。順次学会の顕彰に使用するが, 名  
誉会員へは従来のものを使用する予定。

会員関係(担当理事-中山)

1)入会の承認

正会員(5):齋藤洋輔, 趙 大鵬, 銭谷竜  
一, 三和 公, 朝日博史

院生割引(13):佐久間広展, 木下和也,  
平城兼寿, 杉原 誠, 菊池岳人, 花井健太,  
渡辺悠太, 西村啓介, 北條 愛, 李野修士,

長谷川孝宗, 内藤 忍, ランジャン クマ  
ール ダハル

学生(3):村本政史, 守安 誠, 上原康裕  
2)退会者(正4):神賀誠, 菅家奈未,  
井村 隼, 岩下享平

3)逝去者(名誉2):市原 実(8/4),  
茅原一也(8/29)

4)8月末現在会員数  
賛助34, 名誉76, 正4462(内, 273院割),  
学生39, 合計名4,611

5)追悼記事:今井名誉会員→関係者により  
検討中。市原名誉会員→楡井会員

6)会員関係の検討課題について

・名簿発行について, アンケートの返信状  
況と今後の見通し(→審議事項)

・会員の動静について

配付資料について説明:年齢構成は50  
代がピーク, 会員数ピークの30年代を見  
るとピークは30歳代だった。2007年問題  
(団塊の世代の退職に伴う会員減少)は  
それほど深刻ではないかもしれない。退  
会者数としては, 地質調査業界と院生が  
多いので, これらの階層に魅力のある活  
動をする必要がある。院生の退会者は,  
専門職への就職の減少が原因かも知れな  
い。これらの事情も考慮することが必要。  
さらに60代になっても学会から離れない  
ような方策が必要。12月評議員会での検  
討を望む。

・会員管理ソフト及びハードの入れ替え検  
討中, 会計と相談のうえ年度中に実行す  
る。

地球惑星科学連合(久田連絡委員)

・2007年レギュラーセッション見直しに添  
って, 5月19日~24日の開催が決定した。  
地質学会の総会期日については, 5月20  
日(日)夕刻に設定してもらうよう, 久田  
委員から日本地球惑星科学連合事務局に早  
めに依頼することとした。

会計関係(担当理事-向山)

・雑誌印刷の契約更新(113巻2007年より)  
のための入札を行う。

従来通りの発行形態を前提とすることを  
承認した。ただし, 契約書においては形  
態変更への協議事項を含む。

・不調のパソコン機種の入替えをおこな  
った, 現状のリース料とほぼ同額。

・会員管理ソフトおよびハードの入替え  
検討中。予算内で今年度中に実施。

リースで年間70万円程度の経費予定での  
実施を承認した。

・会費の再検討について:除籍者減少対策  
として, 総務部会は自動引き落としキャン  
ペーンなどの検討を進めている。除籍  
までの債務量を減らす方向の提案を, 次

回に審議する事とした。現行, 滞納4年  
目ごとの除籍処理については, 期間短縮  
は行わない。

広報委員会(担当理事-大友)

・来週末, 高知大会のプレスリリース予定。  
地質情報展と高知県副知事挨拶につい  
てのリリースを要請。現在候補を行事委員  
に募集中。

・プレス出口は広報委員会が一括。リリ  
ース先は周知と検討しマニュアル化するこ  
ととした。

・国際学会等での英語ポスターを作成し  
ておく事とする。アウトリーチのための作  
業委員会を編成し, 作業を進めることと  
した。

ニュース誌編集小委員会(担当理事-大友)

・地質事象の原稿募集をニュース誌で行  
うとともに, 高知大会でも宣伝, 募集する。  
インターネット運営小委員会(担当理事-  
大友)

・高知大会で委員会開催を計画中。

2. 学術研究部会(部会長-久田, 公文, 増  
田)

行事委員会(久田委員長)

・見学旅行案内書の編集が完了した。

・災害緊急展示は3件受付。

・地質情報展オープニングセレモニーへの  
招待(9月15日):県副知事と会長が出  
席

・プログラムは8月号News誌に掲載, 発  
行済み。

・講演要旨の印刷部数を1000部, 見学旅行  
印刷部数を300部と確認した。

・高知県から補助金が交付されることが決  
まった。金額は未定(参加者数による)。

・高知大会期間の外部対応・プレス等の窓  
口, 連絡体制等を広報, 行事, 会長等が  
検討する。

・高知大会実行委員会の努力に対し学会と  
しての感謝を示す, 次回北海道大会の準  
備委員会メンバー, 北海道支部の高知大  
会状況視察や意見交換などを準備する。  
支部長との連絡は支部長連絡会議(伊藤  
副会長担当)が対応する。

・保育室の利用が少ないため赤字事業とな  
るが, 単価を上げることにも限界がある  
ので, 男女共同参画と会員サービスの面  
から今後とも積極的に実施する事を確認  
した。保育単価(時間当たり1名)は  
800円として, 差額を学会負担とす  
ることを確認した。

3. 編集出版部会(部会長-狩野, 久田, 宮  
下, Wallis)

地質学雑誌編集委員会(委員長-狩野 副

委員長-久田, 宮下 = 企画担当)

- ・ 9月号発刊の遅延の恐れ  
9/2現在で、一週間遅れで9月号が発刊出来る可能性がでてきた。だが続く10月号以降の成り行きは予断を許さない。ただし、最近新着原稿が増えてきたので、改善される見通しはある。この状況は特集号が成立するまで続くであろう。
- ・ 今月の編集状況は以下の通りです (9月1現在)。  
112-8: 論説4・短報1・口絵1, (52p) 発行済み  
112-9: 総説2・口絵1, (31p) 入稿中
- ・ 本年度投稿論文数73編 [論説48 (和文42・欧文6), 総説4 (和文4), ノート2 (和文2), 短報16 (和文16), 討論3 (和文3),] 口絵6 (和文4・欧文2)
- ・ 投稿数昨年比 +8 査読中55編
- ・ 電子投稿・査読システム: 実際の投稿原稿での試行運用中。画面やシステムの細部について、修正依頼中。高知大会にてシステムのデモンストレーション (9/17ランチョン) と展示ブースでの体験コーナーを設置 (JSTによる出展) 予定。
- ・ 科学技術振興機構 (JST) の電子アーカイブ対象誌に地質学雑誌が選定。PDFデータの提供方法、著作権取り扱い等について、JST 担当者と事務局にて打ち合わせを行った (8/29)。

Island arc編集委員会 (担当理事-Wallis, 事務局長-竹内圭史・角替敏昭)

- ・ 日本地質学会Island Arc (仮称) の新設を提案
- ・ Island ArcのSynergy上のアーカイブが、Vol.1 No.1から登録済みで、参照が可能となった。
- ・ Blackwellとの次期出版契約準備を進行中で、次回理事会で報告予定。

4. 普及教育事業部会 (部会長-高橋, 倉本) 地学教育委員会 (委員長-阿部国広)
- ・ 地球惑星科学連合「教育問題検討委員会」
  - ・ 中央教育審議会に対し、7月27日に提言書を提出した。  
「すべての児童生徒が地球人としての科学リテラシーを身につけるために一義務教育段階での「理科」のあり方に関して」

地質基準委員会 (委員長-新妻信明)

- ・ 毎月開催される地質基準委員会において第二次地質基準の策定作業を行っている。  
2006年12月の評議員会に「第二次地質基準案」を提出すべく、作業を進めている。策定された第二次地質基準に従って、Aランクの研究を紹介する「第二次地質基準」は、2008年9月に出版する計画である。
- ・ 「海の地質基準」の出版準備作業も並行して進めており、掘削船「ちきゅう」の

定常航海が開始する2007年9月の出版を計画している。

## 5. その他

- 支部長連絡会議 (担当理事-伊藤)
  - ・ 9月17日 (日) 昼に支部長会議開催の予定。
- 地質災害委員会 (担当理事-天野)
  - ・ 下記の災害調査団を承認した。  
2006年集中豪雨による長野県中南部の地質災害調査, 日本地質学会現地調査団  
三宅康幸, 公文富士夫, 原山智, 小坂共栄, 大塚勉, 村越直美

## 【以下、評議員会の下委員会】

- 法務委員会 (担当理事: 委員長-上砂)
  - ・ 8月8日, 地質学会事務局で法務委員会を開催し, 「高知大会見学旅行案内書について」著者からの質問について検討した。  
検討結果: 見学案内書は地質学雑誌のsupplementとすることが7月の理事会で決定されたので, 同書は地質学雑誌内の著作物としての取り扱いを受けると判断する。また, 著者の危惧 (二重投稿に関わることなど) については, そのような事態が発生する可能性があるとの判断から, 著者らに対しては対応策を講ずるよう示唆することとし, 法務委員会より行事委員長にメールにて見解を送付した。
  - ・ 見学旅行担当者より内容確認の依頼があった「高知大会見学旅行案内書の表紙裏付, 奥付」についても, 副会長の要請により検討し, 見解を伝えた。
  - ・ 同じく「安全のしおり」についても検討, 返信した。
  - ・ その後2, 3の質問, 回答を繰り返したが, 補遺化に際し生じている, 色々な齟齬については移行過程の問題として, 投稿規定の改正等を正規の手続きに基づいて急ぎ進めるよう, 法務委員会から理事会へ要請された。これに対し各種規約規定類の修正が編集委員会から今回提案され, 審議事項において議論し, 対応した。

オンライン化委員会 (委員長-斉藤 眞)

今年は, 昨年までの講演申し込みに加えて, 年会の参加登録のオンライン化を行った。しかし, クレジットカード決済は, 参加登録だけの場合はまだできず, トップツアー関係の宿泊手配等をした人だけ, サービスでトップツアーのクレジットカードの使用が可能であった。今後どう改善すべきか検討が必要である。

また, 講演申し込み期限の最終日に, サーバーのトラブルが発生した。アメリカのサーバーを用い, 国際回線を使っている業者のため, 原因がはっきりしないまま復旧した。これも来年にむけての検討課題である。

なお, 本年度は地質学雑誌の査読のオンライ

ン化の見込み (現在試行中)。これについては編集委員会から報告された。

選挙管理委員会 (委員長-関 陽児)

- ・ 8月2日第1回選挙管理委員会を開催。互選により委員長に関陽児を選出した。
- ・ 選挙規約に基づき, 今後のスケジュールを確認した。  
今選挙は, 代議員100名の改選を行い, 理事7名および評議員20名を改選する。  
公示 9月10日  
立候補受付 10月1日~31日  
投票期間 11月15日~12月15日  
開票日 12月18日
- ・ 公示 (9月10日) に先立ち, News 8月号に予告記事を掲載することとした。

## 6. 4役会審議内容

- 1) 欄山賞に関わる新造メダルについて
- 2) 国際堆積学会におけるブース展示について
- 3) アイランドアークについて (→理事会審議事項へ)
- 4) 地質学雑誌の原稿不足について (→理事会審議事項へ)
- 5) 第2回定例評議員会について
- 6) 見学旅行案内書の件について
- 7) その他

## ○審議事項

### 1. 地質学雑誌の原稿不足について

・ この件に関しては長期的な検討を早急に始める必要がある。依頼や特集企画だけで年間12回を確実に編成できるだけの一般投稿数が維持できるか検討が必要, それほどの程度中期的に確実にについても要検討, 欠号を出さずに出版をする単位が1巻 (1年) 単位である上に, 出版計画の変更は総会承認事項であることを考えると, 来年の総会において承認を得たとしても, 再来年1号からしか変更が出来ないこと等を確認した。基本的には投稿数・入稿数の確保の方策をまず議論することとし, 大会シンポジウムからの特集招聘を行うこと, 連載記事等の新たなカテゴリーを考える, 研究部会での企画を特集にする等を検討した。なお, 基本的には受理原稿がある限り, 欠号や合併号とせずに, 1編であっても直近に予定通り出版することを原則とすることとした。

### 2. 日本地質学会Island Arc賞の新設提案

・ 賞新設に伴う規約等の改正案がウォリス理事から提示され, 従来の日本地質学会論文賞の規定の変更なしに, 新たに提案通りの「日本地質学会Island Arc賞」の設立方針を認め, 高知大会での評議員会にはかることとした。顕彰者名は, 地質学会会長とブラックウェル社の代表を併記とすることとした。

### 3. 会員名簿発行について

- アンケート回収が少ないため、方針決定が不能。高知大会等でもキャンペーンを行い回答数を増やすことにした。7割程度のアンケート回収を発行の最低条件とするが、年度末までに到達しない場合には、次年度に事業を繰り越さずに、名簿発行事業について根源的に検討し、評議員会に提案することとする。
- 今年度事業での発行に努めることとし、アンケート回収手段をさらに検討実施する。なお、事務局からの学会連絡用のメールアドレスはアンケート調査に利用できない。高知学会の受付でアンケート回答を集める。
- 12月の評議員会への報告に向けて、選挙管理委員会の了承を得た上で、選挙投票の際に最後のアンケートを同封して回答を集計することとする。

### 4. 見学旅行案内書の補遺に伴う、編集規約等の改正案

- 編集委員会より、編集規約等関連規約の改正案が提案され、検討した。見学旅行案内書編集委員会の位置づけについて、地質学雑誌編集委員会の下に置く方が、修正案の大会実行委員会内に置くよりも良いのではないかと意見が出たが、大会の場での編集が実態を反映していると判断し、修正案を承認した。

## 2006年度 第4回理事会 議事録

2006年10月14日

期日：2006年9月15日（土）

13:00~14:00

場所：高知市文化プラザ 中央公民館 第3学習室

出席者：木村会長、佃副会長、天野副常務理事・Wallis・上砂・大友・狩野・公文・倉本・高橋・久田・宮下・向山 各理事、三宅評議員会議長、橋辺（事務局）、  
欠席理事：伊藤副会長、渡部常務理事・増田

\*成立員数（12/1）に対し、出席者14名、委任状2名、欠席者1名で、理事会は成立。

#### ○審議事項

評議員会への報告事項、審議事項の内容確認および配布資料確認。

## 2006年度 第2回 定例評議員会議事録

2006年10月14日

日本地質学会評議員会

議長 三宅康幸

副議長 新井田清信

日時：2006年9月15日（金）

14:00~17:00

場所：高知市文化プラザ 中央公民館 第3学習室

出席者：木村 学会長 佃 栄吉副会長

（評議員 20名）<07年任期> 安間 恵 永広昌之 国安 稔 田崎和江 田近 淳 新妻信明 三宅康幸 横山俊治 <08年任期> 石垣 忍 石渡 明 井内美郎 井龍康文 岡 孝雄 小山内康人 酒井治孝 徐 垣 新井田清信 針金由美子 松田博貴 丸山茂徳

（理事12名）天野一男 上砂正一 大友幸子 狩野謙一 公文富士夫 倉本真一 Simon WALLIS 高橋正樹 中山俊雄 久田健一郎 宮下純夫 向山 栄（事務局）橋辺菊恵

欠席者 評議員（委任状19名）：会田信行 浅野俊雄 足立勝治 阿部国広 荒戸裕之 安藤寿男 磯崎行雄 板谷徹丸 加藤 進 紺谷吉弘 柴 正博 納谷友規 楡井 久 保柳康一 矢島道子 山路 敦 松岡 篤 脇田浩二 渡辺真人

欠席者 評議員（委任状なし1名）：巽 好幸

理事（3名）：伊藤谷生副会長 増田富士雄 渡部芳夫

\*成立員数（21/40）に対し、出席20名、委任状19名で、評議員会は成立。

\*小山内康人、松田博貴両評議員を書記に選出。

#### ○報告事項

##### I 理事会報告

1. 運営財政部会（部会長-上砂、中山、向山、大友）

1) 総務委員会

庶務関係（担当理事-上砂）

・日本科学技術振興財団：青少年のための科学の祭典2006（2006年8月）後援

・第14回「ゼオライト夏の学校」協賛、および「第22回ゼオライト研究発表会」協賛

・日本粘土学会「第50回粘土科学討論会」共催

・21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム実行委員会子供のためのジオカーニバル企画委員会：第7回子供のためのジオカーニバル2006（2006年11月11日~13日）後援

・朝日新聞社：第4回ジャパンサイエンス&エンジニアリング（JSEC2006）高校生科学技術チャレンジ（平成18年6月~19年5月）後援

・社）計測自動制御学会：第32回リモートセンシングシンポジウム協賛

・応用地質学会：応用地形学講習会（11月24日）協賛

・海洋調査技術学会：第18回研究成果発表会（11月9日~10日）協賛

・今年度事業として産業技術総合研究所と共同研究契約を締結した（4月3日付け）。

研究題目：「地質科学分野におけるオンライン化の将来動向に関する研究」

・若手の賞新設に当たり、新メダルを作成。次年以降は各賞全てに使用する。

JABEE委員会（委員長-福澤仁之）

・書面にて報告あり（本号別掲載）

会員関係（担当理事-中山）

前回から今回までの入退会ほか

#### (1) 入会

正会員（15）：岩崎毅吏、久保篤規、高橋かづ江、小野雅弘、山口正秋、森 良太、棚橋道郎、山本伸次、水上知行、ティモシー パーン、モア グレゴリー、齋藤洋輔、趙 大鵬、三和 公、朝日博史

正会員割引（79）：野崎達生、後藤 当、上田直人、濱村直弘、溝部かずみ、町 澄秋、上妻玲馨、富田 覚、宇佐見和子、伏木 治、山中晶子、宮川歩夢、五十嵐雄大、三浦知洋、草宮尚隆、宮副智之、田所弘行、影山典史、昆 慶明、吉田広人、室田真宏、川井隆宏、穴田真一、本多 結、山本 巨、新納亜希子、伊牟田みはる、二階蔵晃、鈴木友香里、真木祐典、庵谷奈津子、武田史明、松井真理、榎本洋輔、清水 瞳、毛利崇、大浜敏樹、福成徹三、森本隼平、播磨雄太、イスラム エムディ ラフィクル、ドゥヴェディ スニル クマル、ジョシガネス ラージ、川村明加、中村 慧、中野大智、梅原綾乃、岡本直也、米島真由子、高谷真樹、高橋功治、塚本祐也、玉原正之、大城広樹、田中大地、松原拓穂、菊池直樹、バキロフ アザマト、石川智子、大井剛志、八木裕介、西田慎一、澤木佑介、野地耕平、節田祐介、兼葉陽子、佐久間広展、木下和也、平城兼寿、杉原 誠、菊池岳人、花井健太、渡辺悠太、西村啓介、北條 愛、李野修士、長谷川孝宗、内藤 忍、ランジャン クマール ダハル

準会員（15）：廣瀬祐市、峯村純子、田阪美樹、桐川隆之、樋口衡平、角田絵理、相澤育実、岩本はるか、尾吹 萌、高柳栄子、佐津川貴子、伊東佑子、村本政史、守安誠、上原康裕、

#### (2) 退会（9、正のみ）

藤沢亜希子、江崎弘造、伊豆隆太郎、島野裕文、猪野恭平、藤井 諭、神賀誠、菅家奈未、井村 隼

#### (3) 逝去6名（名誉4名、正2名）

名誉会員：小島丈児（6/1）羽田 忍（6/2）市原 実（8/4）、茅原一也（8/29）

正会員：阿久津純（5/4）、川上 廣（5/22）逝去された6名の会員に対し評議員会出席者全員による黙祷が行われた。